

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	認知症施策推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			
					08	03	02	04
							01	01

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	認知症でも本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指す。
事業内容	市民への認知症の正しい知識の啓発や早期発見・対応体制整備を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年4月の介護保険法の改正により、地域支援事業の一つとして明記され、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）とともに取り組むことになっている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	認知症サポーター養成数	1859	2646	2266	人	↑↑↑	年度内のサポーター養成講座受講者数
②	認知症講演会参加者数	87	79	64	人	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 9月に「認知症を知る月間」を開催。認知症に関する相談会やパネル展示を市内大型店舗にて実施したほか、認知症サポーター養成講座などを実施した。 認知症が疑われる人や家族を訪問し、初期の支援を包括的、集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」を介護支援課内に平成27年度末に設置し、新たに3名に支援を実施した。 認知症地域支援推進員が中心となって作成した認知症安心ガイドブック（認知症ケアパス）の掲載内容を更新した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,174,353	16,192,471	14,365,339				
事業費(b)(円)		542,953	1,602,971	769,439				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		11,631,400	14,589,500	13,595,900				
人役・職員(人)		1.50	2.00	2.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.20	0.50	0.10				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	事業所に配置されている認知症地域支援推進員と協議し、相談体制の構築を図る。	③取組の課題	認知症地域支援推進員を活用した相談体制が未整備である。
②今年度(H29)に実施した取組	認知症地域支援推進員の全体会にて、今後の認知症に関する相談体制の整備、啓発方法等を定例会にて検討し、実施していくことを取り決めた。	④今後(H30以降)の改善計画	認知症地域支援推進員と定期的に協議を行いながら、認知症に関する相談体制の構築を図る。